

名 称	常滑支部の社会参加活動に参加
実施日	令和6年11月10日(日)
記 事	<p>西知多保護区常滑市支部で開催された「令和6年度社会参加活動」に知多支部の保護司4名が参加しました。</p> <p>この活動は保護観察対象者の社会参加と地域社会への貢献を目的とし、併せて保護司会、更生保護女性会、BBS会の相互交流や親睦を兼ねてのものでした。</p> <p>かつて常滑支部では施設での餅つき大会などを実施しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大で活動は中断しておりました。今年は久しぶりの開催で常滑市奥条地区道路のゴミ拾いでした。</p> <p>数日前の天気予報では一時雨降りとなっておりましたが、当日は薄曇りが続き熱くもなく寒くもなく丁度良い日となりました。</p> <p>当地区区長の挨拶から始まり、常滑支部山田協力組織部会長の活動説明後に、抽選により5つのコースに分かれ不燃物用と可燃物用の袋を用意してゴミ拾いを実施しました。</p> <p>活動前にはゴミは少ないだろうとのことでしたが、実際に始めますと路面にはほぼ落ちていないものの、路肩の草むらにはかなりの量がありました。道路などを汚さないのは日本人の美德と考えておりましたが残念なものでありました。1時間余りの活動後にたっぷり集まったゴミを分別確認して軽トラックに載せました。</p> <p>活動終了後は、外山保護司が住職を務める大善院で各団体の懇親を兼ねた反省会を、食事をしながら実施しました。</p> <p>山田部会長からは当初予定していた常石神社の駐車場が祭りの山おろしで使えず苦労話の報告がありました。</p> <p>道路にタバコの吸い殻がかなり多く捨てられており、一部の喫煙者であろうと思うもののマナーについて厳しい意見も出ました。</p> <p>最後に外山保護司から大善院についての説明がありました。</p> <p>1582年(天正12年)本能寺の変が起きた6月2日は、徳川家康は堺にいました。知らせを受けた家康は急いで本国三河に帰るため伊賀を越え知多半島を通り三河に渡ったと言われています。その時に常滑浜に上陸し大善院で休息したとのことでした。後日、家康から大善院にお礼として、短刀、金2歩(1両の半分)、木馬が贈られました。現存するのは木馬と書面のみとなっているそうです。</p>



<大善院の徳川家康から贈られた木馬>